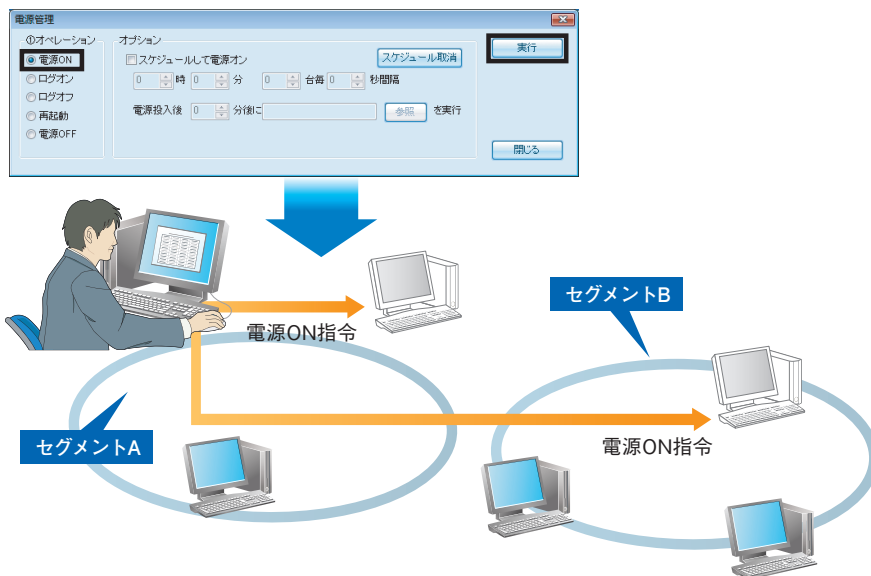


# 電源管理機能を活用する

管理機から端末機の電源管理をします。複数の端末機の電源を一斉管理することで、管理者の負担を軽減できます。



- 端末機の電源を入れるためには、次の条件が必要です。
  - コンピュータがWake on LAN、またはvProに対応している。
  - リモートで電源が入るように設定されている。
  - ネットワークインタフェースカードが端末機の電源OFFでもLink LEDが点灯している。
  - 管理機と端末機が接続されているハブの電源が入っている。
  - 管理機と同じネットワークセグメント内にある。
- SKYSEA Client Viewは、ICカードや指紋認証といった認証デバイスに対応していません。そのため、指紋認証などの認証画面が表示されている端末機に対して、電源管理機能でログオンすることができません。
- 操作している管理機と異なるネットワークセグメントの端末機の電源を入れるには、そのネットワークセグメント内に電源の入っている端末機が1台以上必要です。電源が入っている端末機が1台以上ある場合に、「オペレーション」で「電源ON」を実行すると、操作している管理機と異なるネットワークセグメントの端末機も電源ONできます。



## ■ 管理機から端末機の電源、ログオン / オフを操作

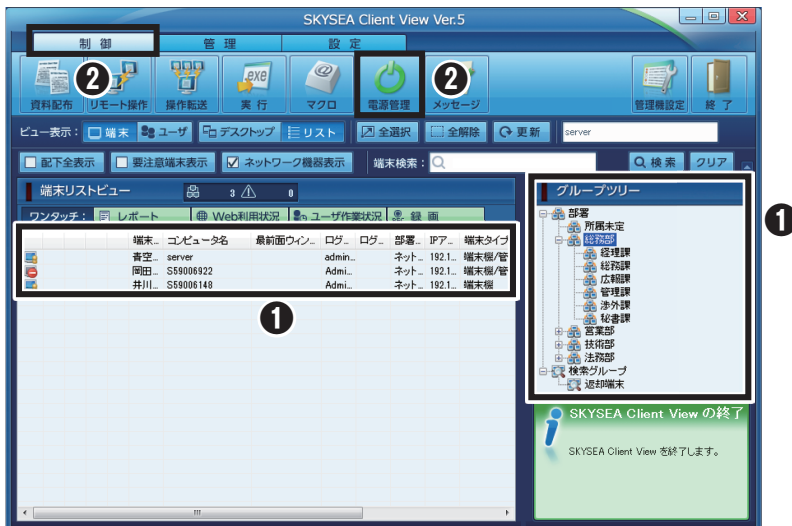
管理機から、端末機の電源ON / OFF、再起動、ログオン / ログオフなどの電源管理を一斉に行えます。

電源管理機能のトップ画面は次のとおりです。



番号	項目	説明	参照
①	オペレーション	電源管理に関する操作を選択します。	—
	電源ON	端末機の電源を入れます。	5ページ
	ログオン	端末機をログオンさせます。	6ページ
	ログオフ	端末機をログオフさせます。	8ページ
	再起動	端末機を再起動させます。	9ページ
	電源OFF	端末機の電源を切ります。	10ページ
②	オプション	スケジュールや、ログオン方法など、オプション操作の設定を行います。	—
③	実行	電源管理に関する操作を実行します。	—
④	閉じる	設定内容を保存せず画面を閉じます。	—

① グループツリーから部署を選び、電源管理を行う端末機を選ぶ。

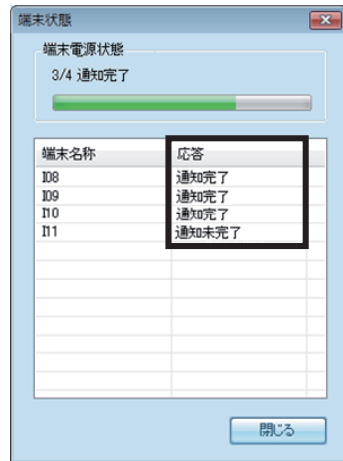


② 「制御」タブを選び、[電源管理]をクリックする。

» 「電源管理」画面が表示されました。



- 「電源ON」「再起動」「電源OFF」の場合は、実行すると、「端末状態」画面が表示されます(スケジュールを指定して電源を入れた場合は、表示されません)。応答内容は「オペレーション」で選んだ項目によって異なります。



項目	応答内容
電源ON	通知未完了：要求未送信です。 通知完了 (Wake on LANで起動)：要求送信済みです。
再起動	通知未完了：要求未送信です。 通知完了：要求送信済みです。
電源OFF	通知未完了：要求未送信です。 通知完了：要求送信済みです。

- 「電源ON」のとき、vProに対応している端末機の場合は、次の応答内容が表示されます。

通知未完了：要求未送信です。

通知完了：要求送信済み。

起動成功：起動に成功しました。

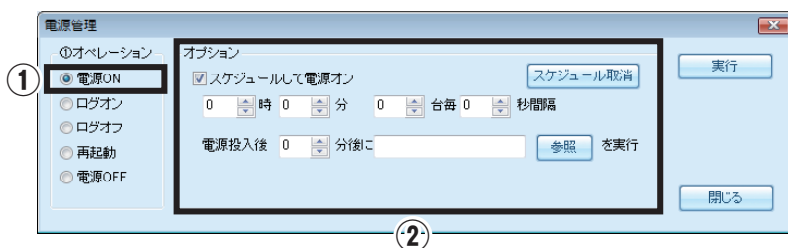
起動失敗 (Wake on LANで起動)：起動に失敗したため、Wake on LANで起動しません。

認証失敗 (Wake on LANで起動)：AMT認証に失敗したためWake on LANで起動しません。

## 電源を入れる

端末機の電源を入れます。

「電源ON」画面は次のとおりです。



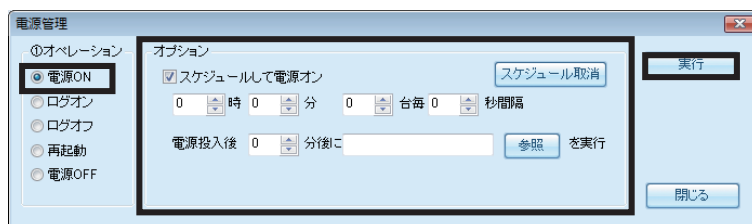
番号	項目	説明
①	電源ON	端末機の電源を入れます。
②	オプション	オプション操作を設定します。
	スケジュールして電源オン	チェックを入れると、設定した時間に端末機の電源を入れます。
	スケジュール取消	指定時間などの入力した内容を取り消します。
	電源投入後に実行指定	電源を入れた後に実行する動作を指定します。[参照]をクリックして、ファイルを指定します。

### 操作手順

#### ① 「電源管理」画面を表示する。

- 詳しくは、「電源管理機能を活用する」の操作手順①～②(→3ページ)を参照してください。

#### ② 「電源ON」を選び、オプションを指定し、[実行]をクリックする。



- オプションを指定する場合は、「スケジュールして電源オン」にチェックを入れ、時間を設定してください。

» 端末機の電源が入りました。

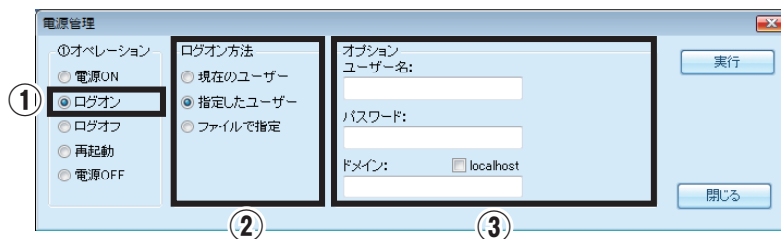


- スケジュール指定した時間にご利用の管理機がスタンバイ状態の場合、スケジュールどおりに電源が入りません。電源はスタンバイ復旧後に入ります。

## ログオンさせる

端末機をログオンさせます。

「ログオン」画面は次のとおりです。

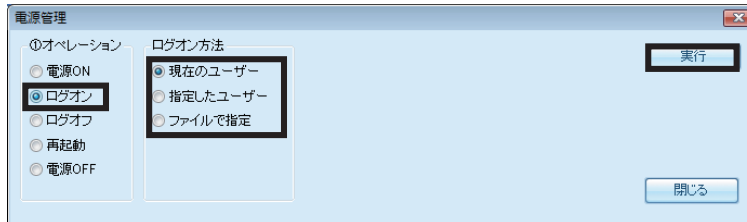


番号	項目	説明
①	ログオン	端末機をログオンさせます。
②	ログオン方法	ログオンする方法を指定します。
	現在のユーザー	現在のユーザ名でログオンさせます。パスワードを指定していないときに使います。
	指定したユーザー	「ユーザー名」「パスワード」「ドメイン名」を指定してログオンさせます。ドメインを指定しない場合は、「localhost」にチェックを入れます。
③	ファイルで指定	「端末名」「ユーザー名」「パスワード」「ドメイン名」が記載されているCSVファイルを使ってログオンさせます (CSVファイルは、端末名、ユーザー名、パスワード名、ドメイン名の順で、カンマ(,)で区切ります。「ドメイン名」は任意項目です)。
	オプション	オプション操作を設定します。②で「指定したユーザー」を選んだ場合のみ、表示されます。
	ユーザー名	ログオンさせるユーザ名を入力します。
	パスワード	ログオンさせるパスワードを入力します。
	ドメイン	ログオンさせるドメインを入力します。ドメインを指定しない場合は、「localhost」にチェックを入れてください。

① 「電源管理」画面を表示する。

- ・ 詳しくは、「電源管理機能を活用する」の操作手順①～②(→3ページ)を参照してください。

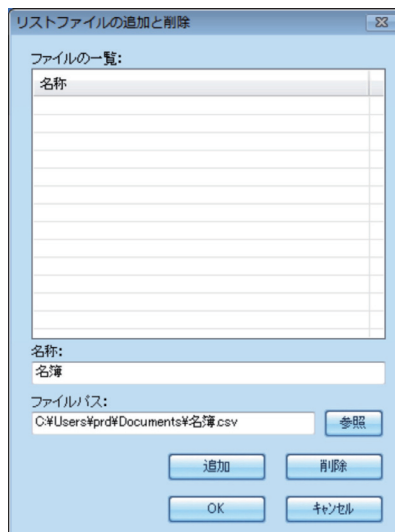
② 「ログオン」を選び、ログオン方法を設定し、[実行]をクリックする。



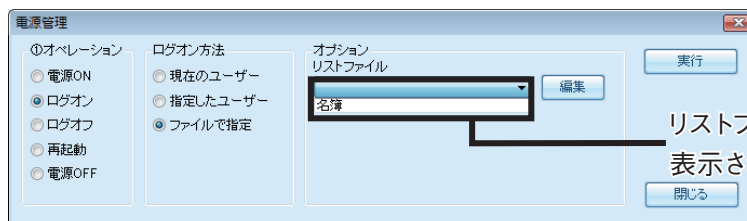
» 端末機がログオンしました。



- ・ 「ファイルで指定」を選んだ場合は、[編集]をクリックし、ファイルを登録してください。ファイルの登録は次の画面で、「名称」と「ファイルパス」を設定し、[追加]をクリックしてください。



- ・ 「ファイルで指定」からファイルを登録すると、次回から「▼」をクリックすればリストファイルの一覧が表示され、ファイルを選択できるようになります。



リストファイルの一覧が表示されます。

## ログオフさせる

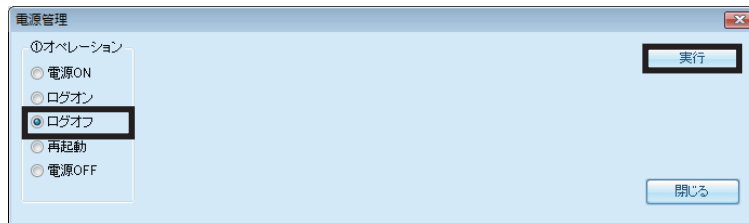
端末機をログオフさせます。

### 操作手順

**① 「電源管理」画面を表示する。**

- ・ 詳しくは、「電源管理機能を活用する」の操作手順**①**～**②**(→3ページ)を参照してください。

**② 「ログオフ」を選び、[実行]をクリックする。**



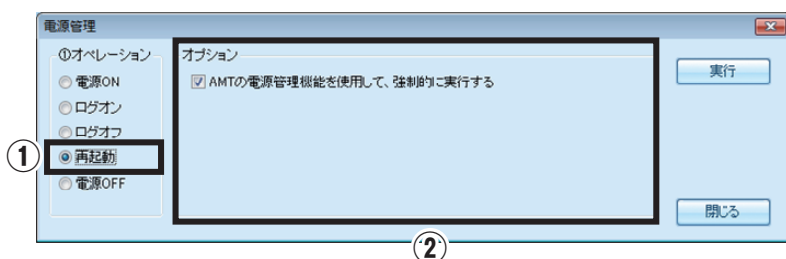
» 端末機をログオフしました。



## 再起動する

端末機を再起動します。

「再起動」画面は次のとおりです。



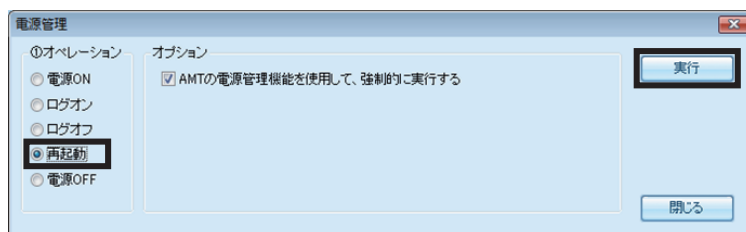
番号	項目	説明
①	再起動	端末機を再起動させます。
②	オプション	オプション操作を設定します。
	AMTの電源管理機能を使用して、強制的に実行する	チェックを入れると、強制的に再起動させることができます。端末機がフリーズしたなど、やむを得ない場合、vProに対応している端末機のみ、強制的に再起動させることができます。

### 操作手順

#### ① 「電源管理」画面を表示する。

- ・ 詳しくは、「電源管理機能を活用する」の操作手順①～②(→3ページ)を参照してください。

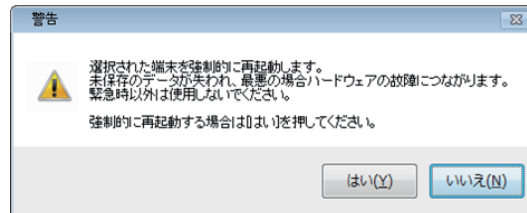
#### ② 「再起動」を選び、[実行]をクリックする。



» 端末機を再起動しました。



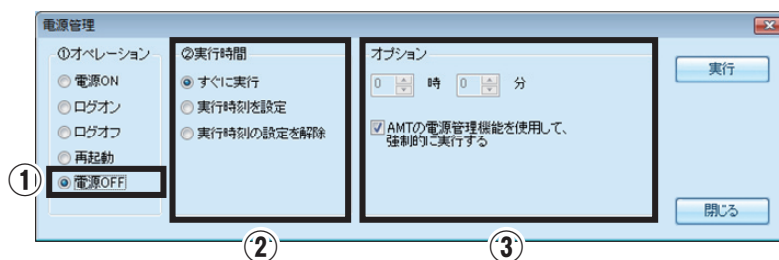
- 端末機がフリーズしたなど、やむを得ない場合、vProに対応している端末機のみ、強制的に再起動させることができます。「AMTの電源管理機能を使用して、強制的に実行する」にチェックを入れて、実行してください。



## 電源を切る

端末機の電源を切ります。

「電源OFF」画面は次のとおりです。



番号	項目	説明
①	電源OFF	端末機の電源を切ります。
②	実行時間	電源を切る時間を設定します。
	すぐに実行	実行後、すぐに電源を切ります。
	実行時刻を設定	オプションで設定した時刻に電源を切ります。
	実行時刻の設定を解除	オプションで設定した時刻を解除します。
③	オプション	オプション操作を設定します。
	時刻設定	②で「実行時刻を設定」を選んだ場合に、実行する時刻を設定します。
	AMTの電源管理機能を使用して、強制的に実行する	端末機がフリーズしたなど、やむを得ない場合、vProに対応している端末機のみ、強制的に電源を切ることができます。

① 「電源管理」画面を表示する。

- ・ 詳しくは、「電源管理機能を活用する」の操作手順①～②(→3ページ)を参照してください。

② 「電源OFF」を選び、「実行時間」「オプション」を設定し、「実行」をクリックする。



» 端末機の電源を切りました。

- ・ 「実行時刻の設定を解除」を選択した場合、設定した時刻を解除します。



- ・ 電源OFFを実行する時刻を設定していても、SKYSEA Client Viewを終了していると、電源は切れません。
- ・ 端末機がフリーズしたなど、やむを得ない場合、vProに対応している端末機のみ、強制的に電源を切ることができます。「すぐに実行」を選択し、「AMTの電源管理機能を使用して、強制的に実行する」にチェックを入れて実行してください。

